

医学部後援会

副会長 平野 喜和

◆三会（医学部同窓会、医学部保護者会、医学部後援会）の情報交換・懇親会開催

8/5（月）、東京ガーデンパレスにおいて服部医学部長主催による三会の懇親会が開催され、当会からは、藤巻会長、平野副会長、岩波監事が出席致しました。学生課の高妻主任の進行により、同窓会の森近会長、保護者会の渋谷会長、後援会の藤巻会長から、各会の活動状況等の報告がなされました。

当会藤巻会長からは、2018年度の主な活動状況を以下のとおり報告させていただきました。

1. 『学術奨励賞』は、対象者を「卒後10年前後」として各講座の教授に推薦を依頼し、同窓会には、同窓会誌『茶崖』に募集要項を掲載して頂いており、応募者も増加傾向にあること。本制度の開始から10年を経て、この間27名の応募があり、16名が受賞されたこと。また、『学術奨励賞』には一歩届かなかった方に「更なる成果を上げて再チャレンジして頂きたい」という意味を込めて今回から新たに『学術奨励準賞』を制定したこと。
2. 6/15（土）に定時総会を開催し、総会終了後に『学術奨励賞』表彰式を行い、放射線診断学講座の鎌形先生、膠原病内科学講座の安倍先生、神経学講座（静岡病院）の安藤先生の3名が受賞されたこと。また、生化学・生体防御学の長岡教授を招聘して講演会を開催し、『グルコサミンと健康 ―グルコサミンの軟骨保護作用と抗炎症作用―』の演目で講演を頂き、好評であったこと。
3. 昨年の西日本の豪雨災害への義援金を大学の呼びかけに応じて拠出させて頂いたこと等、報告致しました。

また、今年度の当会への入会状況は、卒業生全体の50%に欠ける状況であり、保護者会との連携が一層必要なので、保護者会の渋谷会長に入会促進の協力をお願い致しました。

服部医学部長より、医学部・医学研究科の現状、医師国家試験合格率推移、医学研究力支援体制と研究費助成状況、国際化への対応等の説明があり、更に、キャンパス・ホスピタル再編事業の進捗状況、未来型健康都市実現のための施策まで話が及び、さらに順天堂大学の収入内訳の詳細な説明をして頂きましたので、順天堂大学の将来に向けての明確なビジョンを理解することが出来ました。

令和元年の今年、開塾181周年を迎えた順天堂大学の更なる発展の為に、当会も順天堂大学の応援団の一員として、微力ながら貢献してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。